

名寄市立名寄東中学校

本年度の学校経営の評価

1 年度の重点教育目標

本年度の重点教育目標	知 主体的・対話的に深く学ぶ生徒	徳 多様性を尊重し、互いに高め合う生徒	体 健康に関心をもち、主体的に心身を大切にする生徒	
育成を目指す資質・能力	(ア) 知識及び技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な内容の理解 ・学習内容が人生や社会の在り方と関連づいた理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的諸価値の理解 ・自分のよさや可能性の認識 ・あらゆる他者を価値のある存在として尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の大切さの理解や基本的な技能 ・身近な生活における健康・安全の理解
	(イ) 思考力・判断力・表現力等の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら問題を見だし、見通しをもって解決する力 ・必要な情報を収集・選択し、自分の考えをまとめ、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己をみつめ、物事を多面的・多角的に考えようとする力 ・人間としての生き方を深く考えようとする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康・安全について課題を見つけ、解決に向けて考え判断する力
	(ウ) 学びに向かう力、人間性等の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組もうとする態度 ・他と協力して解決しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりをもって他と関わろうとする力 ・道徳的に価値ある行動を主体的に選び、実践しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に親しみ体力の向上を目指す態度 ・健康・安全な生活を目指し、楽しく明るい生活を営む態度

3月15日に行われた第3回学校運営協議会において

年度の重点目標をA、B、C、Dの4段階で評価いただいたものを数値化し、以下のように達成率をもって評価に代えさせていただきました。

(例) 【4段階評価平均】 3.8

【達成率】 95%

2 年度の重点教育目標の評価

重点教育目標 1【知】の自己評価

指導の重点との関わり

- (1) 主体的・対話的で深い学びによる確かな力を育む学習指導
- (4) 地域の特色や今日的課題を踏まえた総合的な学習の時間
- (6) 1人1人のニーズに応じた特別支援教育（特別支援コーディネーター・学年部）
- (8) 外国語によるコミュニケーション能力を育む国際理解教育
- (9) 情報活用能力(情報モラルを含む)を育む情報教育（○：達成 △：不十分）

指標	評価指標		達成状況
	(ア)知識及び技能(イ)思考力・判断力・表現力等 (ウ)学びに向かう力・人間性等		
成果	全ての子どもが基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができている。		○
取組	ア	チャレンジテスト全道平均以上	△
取組	ア	学習規律の徹底を図る。【教職員自己評価】 達成率3.2以上&【生徒アンケート】 3.2以上	○
取組	イ	生徒たちが自分の考えをもち、議論する対話的な学びがある授業を実現する。【教職員自己評価】 達成率3.2以上&【生徒アンケート】 3.2以上	○
取組	イ	TT指導や少人数指導・学習形態の工夫など、個に応じた学習の充実を図っている。【教職員自己評価】 達成率2.8以上	○
取組	イ	外国語では「聞くこと」「話すこと」を通して外国語に慣れ親しませる指導を行う。【教職員自己評価】 達成率3.2以上	○
取組	ウ	携帯電話やゲームの使用時間、テレビの視聴時間を考えて望ましい家庭生活を送っている。【生徒アンケート】 達成率3.2以上	△
【改善策】 <ul style="list-style-type: none"> ・各評価指標に対する達成状況は、多くの指標において「達成」している状況である。次年度以降、更なる質の向上に資する取組を行う必要がある。 ・携帯電話やゲーム等の長時間使用による健康被害や依存症についての知識を深め、今後も望ましい接し方について指導していく。 			

重点教育目標 1【知】の学校関係者評価

自己評価の適切さ	A：適切な評価である	【評価平均】 3.8 【達成率】 95%
	B：ほぼ適切な評価である	
改善に向けた取組の適切さ	C：やや不適切な評価である	【評価平均】 3.3 【達成率】 82.5%
	D：不適切な評価である	
	A：十分な効果が期待できる	
	B：ある程度の効果が期待できる	
【学校関係者の意見等】 <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに家庭生活の課題を整理して指導してみてもうでしょうか。 ・家庭生活については親が見本を見せてあげてもうでしょうか。 		

重点教育目標 2 【徳】 の自己評価

指導の重点との関わり

- (2) 豊かな心を育む道德教育
 (3) 個と集団のよさを実感する特別活動
 (5) 自己をよりよく導く生徒指導
 (7) よりよい生き方を目指すキャリア教育 (○：達成 △：不十分)

指標	評価指標		達成状況
	(ア)知識及び技能(イ)思考力・判断力・表現力等	(ウ)学びに向かう力・人間性等	
成果	人と良好な関係を築き自他のよさを認めることができている。		○
取組	ア	道德の時間を要とした道德的実践や命を大切にしている指導の充実に取り組んだ。【教職員自己評価】 達成率2.8以上	○
取組	ウ	日常的な学級指導や学級経営から仲間はずれを出さない風土作りに努めている。【教職員自己評価】 達成率2.8以上	○
取組	ア イ	全教育活動を見通した全体計画と発達段階に応じた指導計画の作成と実施を行っている。【教職員自己評価】 達成率2.8以上	○
取組	ウ	職場体験や進路指導などを通して、自分の将来に夢をもち、自己の生き方について考えることができた。 【生徒アンケート】 達成率2.8以上	○
取組	イ	マイノートを活用するなどして、自他のよさに気づき、互いに認め合う活動を重視した【教職員自己評価】 達成率3.2以上	△
【改善策】 ・各評価指標に対する達成状況は、多くの指標において「達成」している状況である。次年度以降、更なる質の向上に資する取組を行う必要がある。 ・次年度は学年末や各行事における振り返りを通してマイノート等を活用することで、友達や自分の良さに気づき、互いに求め合える指導を図る。			

重点教育目標 2 【徳】 の学校関係者評価

自己評価の適切さ	A：適切な評価である B：ほぼ適切な評価である C：やや不適切な評価である D：不適切な評価である	【評価平均】 3.6 【達成率】 90%
改善に向けた取組の適切さ	A：十分な効果が期待できる B：ある程度の効果が期待できる C：あまり効果が期待できない D：改善を要する	【評価平均】 3.5 【達成率】 87.5%
【学校関係者の意見等】 ・評価によって達成率に差がある。		

重点教育目標3【体】の自己評価

指導の重点との関わり

(1) 主体的・対話的で深い学びによる確かな力を育む学習指導

(10) 生命を尊び、自ら心身を鍛える健康教育 (○：達成 △：不十分)

指標	評価指標		達成状況
	(ア)知識及び技能(イ)思考力・判断力・表現力等 (ウ)学びに向かう力・人間性等		
成果	自ら体力を高め、健康・安全に気を付けることができている。		
取組	ア	新体力テストの結果 達成率全国平均以上	△ ○
取組	ア	地域・関係機関と連携して、健康・安全の理解を深める指導を充実させた【教職員自己評価】 達成率3.2以上	△
取組	イ	保健体育の授業では、授業の目標を示したり、学習の振り返りを行ったりした【教職員自己評価】【児童アンケート】達成率3.2以上	○
取組	ウ	家庭・地域との連携による望ましい生活習慣を育成する取組が成果を上げた【新体力テスト・児童アンケート・保護者アンケート】達成率3.2以上	○
取組		避難訓練や交通安全指導を計画的に実施したりして、日常・非常時の危機管理は周知徹底されている。 【教職員自己評価】 達成率2.8以上	○

【改善策】

- ・新体力テストの結果は、種目によっては全国平均を上回るものもあった。次年度に向けて課題となる運動の強化を教科の学習を中心に実施するとともに更なる質の向上を目指した取り組みを行う必要がある。
- ・「いのちの授業」や非行防止教室における薬物乱用防止等に取り組んで生きているが、今後さらに食育などの取組を通して健康・安全意識の向上を図る必要がある。

重点教育目標3【体】の学校関係者評価

自己評価の適切さ	A：適切な評価である B：ほぼ適切な評価である C：やや不適切な評価である D：不適切な評価である	【評価平均】 3.6 【達成率】 90%
改善に向けた取組の適切さ	A：十分な効果が期待できる B：ある程度の効果が期待できる C：あまり効果が期待できない D：改善を要する	【評価平均】 3.2 【達成率】 80%

【学校関係者の意見等】

- ・体力テストの目標の理解を深めることで、テストに向かう姿勢も高まるのではないのでしょうか。
- ・健康の関心をもつような指導をお願いします。